

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	警固神社社務所ビル増築工事	階数	地上9F
建設地	福岡県福岡市中央区天神2丁目16	構造	S造
用途地域	市街化区域、防火地域	平均居住人員	1,080 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、飲食店、集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2021年7月28日
敷地面積	2,398 m ²	作成者	㈱エネグリーン塩見絵里子
建築面積	970 m ²	確認日	2021年7月29日
延床面積	6,506 m ²	確認者	㈱エネグリーン定森淳一



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 ・ 自然環境等を保存し、歴史性を継承すると共に、地域貢献により豊かな地域環境に努めている ・ 資源マテリアル性に配慮し、環境負荷削減に取り組んでいる ・ 再生利用が可能な資材を多く採用し環境に配慮/更新・維持管理に優れた建物の計画		その他
Q1 室内環境 ・ 内装材全てにF☆☆☆☆を採用し、空気質環境に配慮 ・ 化学汚染物質による空気質汚染を回避する対策敷地内全面禁煙	Q2 サービス性能 ・ 給排水配管に長寿命材を採用 ・ 0.1未満の壁長さ比	Q3 室外環境(敷地内) ・ 既存の自然環境等を保存し、地域の歴史性を継承している ・ 施設提供による地域貢献により多様なアメニティ性をもたせ豊かな地域環境に努めている
LR1 エネルギー ・ LED照明設備等の高効率設備の採用により省エネルギー性に配慮	LR2 資源・マテリアル ・ 水栓器具の過半に節水仕様を採用 ・ 解体時の分別が容易な工法の採用により非再生性資源の使用削減に努めた	LR3 敷地外環境 ・ 駐車駐輪施設を十分に確保し、交通負荷抑制に努めた ・ チェックリストの過半を満たす、広告物照明無し等、光害の抑制に努めている

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される